

後期教育長訪問

後期の教育長訪問があり、教育長と指導主事の方にお越し頂きました。訪問の目的は授業参観により子どもたちの様子を参観いただくことと校長との面談により、学校課題への取組状況と来年度に向けた方向性について話し合うことです。

授業参観については、教育長からは先生方と子どもたちがいい



関係なのがみてとれた。指導主事の方からは子どもたちの反応もよくて、それぞれが学びに向かって取り組んでいる様子がよく分かりました。とお話しいただきました。



私も 2 学期を振り返ってみても子どもたち一人ひとりの成長を感じる場面を数多く見てきました。また、高学年になると自分たちで司会や板書を担当しながら授業を進めている場面があったり、全員が同じペースでなく自分に合った進度で単元の全部や一部を進めたりしている様子も多く観るようになってきました。こうした授業を観ていて常に思うことは、先生が主導で子どもたちに発問しながら進める授業であっても、子どもたちが司会進行する授業であっ





ても、子どもたち一人ひとりが学びに向かう姿勢が何よりも大事ということです。そのために先生方とは「やりたいことを自分（たち）で決める」場面を設定したり「分からない時に友だちや先生に相談したり、助けを求めたりできる」学級づくりやかかわりをしていこうと話合っています。

また、私からは学校統合に向けての計画や今後、取り組んでいきたいことをお話しさせていただきました。今晚は、校名募集の集計結果より、統合小学校の校名について協議がなされます。子どもたちの中にも応募した子います。決定した際には、様々な想いを込めて応募された方がたくさんいたことやそれぞれの校名に込めた想いについても伝えて

ていきたいと考えています。